

キャリア支援を考える 13 : 教員が変わらないから美辞に終わる？

Kawakita, Takashi / 川喜多, 喬

(出版者 / Publisher)

教育新聞社

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

教育新聞 / 教育新聞

(号 / Number)

2604

(開始ページ / Start Page)

3

(終了ページ / End Page)

3

(発行年 / Year)

2006-02

キャリア支援を考える

—13

キャリア支援にかなりの大学教員がそっぽを向いているのは悲しむべき現実である。大数の教員は、学生、保護者、広く社会一般からお力ネをいただいている者が多からう。

その職に就いていると思っていない。自分は研究者として優れているから力ネが出て当然と考えて、しかもその金額たるや大学が特権階級の養成所だった当時の金額のまま。できれば授業はしたくない、ましてや進路相談に乗るなどんでもないと考えている教員が多いのではないか。

もちろん理工系はかねてより違う。とはいえ自分の専門に近い企業に学生を偵察隊が研究補助金の見返りに送り込む困難の虞になつて反省せぬ教員もいる人物像を掲げる。松下

法政大学キャリアデ
ザイン学部教授

川喜多 喬

電工の「何でも相談員」の基盤は①人好きで松下電工が好き②明るく爽やかで人から信頼され相談しやすい③相談者に人間的に対応し必要により客観的に厳しいことも言える④

教員が変わらないから美辞に終わる？

会社の制度や仕組みをよく知っている⑤職制・人事部門・組合・社外等に活用できる人脈をもつ⑥担当する職場や仕事、働く人をよく知っている⑦「人」というイメージが⑧学生から何でも相談したいと思われ、自分のメンタルコントロールができる⑨状況に応じ各種のコミュニケーションスキルを使える⑩社員から相談したいと思われ、大学教員もこれからは次のような人を探ら

か以下にあてはまらぬ人には退席願うか、学校経営者は真剣に考えるべきだろう。①学生が好きで愛校心をもっている②明るく爽やかで学生から信頼され相談しやすい③学生に人間的に対応し必要により客観的に厳しいことよく知って④職制・人事部門・組合・社外等に活用できる人脈をもつ⑤職制・人事部門・組合・社外等に活用できる人脈をもつ⑥担当する職場や仕事、働く人をよく知っている⑦「人」というイメージが⑧学生から何でも相談したいと思われ、自分のメンタルコントロールができる⑨状況に応じ各種のコミュニケーションスキルを使える⑩社員から相談したいと思われ、大学教員もこれからは次のような人を探ら

に立脚して決めるべきなんだがなと今はむしろ思っているのである。